

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号 2 - 14
作成年月日 H24. 7. 23
事業区分 ☒ 継続 ☐ 新規

事務事業名 高齢者事業団育成事業

事業開始年度 平成20年度 住民参加 ☐ 有 関係例規・法令名 高齢者事業団訪問開拓員設置費補助金
事業終了年度 平成24年度 住民協働 ☒ 無 関係個別計画名 興部町高齢者福祉計画

会計区分 一般会計 款 3. 民生費 項 1. 社会福祉費 目 2. 老人福祉費

担当課 福祉保健課 担当係名 高齢者福祉係 調書作成者職氏名 係長 山田隆敏

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 91

分類	コード	名称
基本目標	3	生涯を支える“まちづくり”
施策項目	17	高齢者福祉の推進
単位施策	1	健康と生きがい対策の推進

I. 事業計画

(1) 対象	【事業の相手】 ※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 高齢者事業団に補助し、訪問開拓を促進して団員の就業の増大と収入の安定をはかるため。
(2) 手段	【事業の概要】 ※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 高齢者事業団に適した仕事の訪問開拓員活動に必要な人件費と事務経費を補助して高齢者の就業の増大と福祉の増進をはかる。
(3) 目指す姿	【事業の成果】 ※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 高齢者が必要とする世帯や事業所の就労をすることで、地域社会に役立っているという団員の生きがい感、達成感とともに、相互の地域福祉向上をめざす。

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標		目標値 実績値	人					
2	活動指標		目標値 実績値	回					
3	成果指標		目標値 実績値	千円					
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区分	19年度 決算	20年度 決算	21年度 決算	22年度 決算	23年度 決算	24年度 予算	20～24年度 合計
事業費(千円)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金	300	300					300
地方債							0
その他							0
一般財源	700	700	1,000	1,000	1,000	1,000	4,700

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☒ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	長年培った豊富な知識や経験を生かした高齢者の就労活動を支援することは、町の各種計画に掲載しており政策事業である。 生計を養うための仕事ではなく、手助けしなければならぬ町民への労力奉仕を生きがいとしており、公共性が高い。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☒ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	生計を養うための事業団ではないので、安い価格で、町の事業や一般家庭の要請に応じており、その効果は大きい。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☒ (2) 事業を継続する必要がある。 ☐ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	企業など各事業所では受注しないような細かな仕事も相談する価値あり、一般家庭からの日常の身の回りの仕事の依頼が定着しており、地域に与える効果は大きい。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☐ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☒	営利や福利厚生を目的にしていないなど、他の民間委託に比較し、少額で効果大である。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☒ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☐ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	会員の熱意により、個人発注も定着し、成果をあげている。

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	高齢者事業団の存続が地域の高齢者等弱者の環境整備等に役立っている。資材購入など運営に支障をきたすため減額はしない方がよい。
二 次 評 価		二次評価対象外

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性

☆ 評 価

- (1) 継 続 **【現状維持】** ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続 **【拡 充】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続 **【縮 小】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続 **【統 合】** ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの